

社会を明るくする運動・青少年健全育成の推進

▶ 問合せ 役場福祉課、生涯学習課

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため、“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～として、活動を推進していきます。

【行動目標】 ◎犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための取組を進めよう

◎犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう

【重点事項】 犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる社会にするため

◎出所者等の事情を理解した上で雇用する企業の数を増やすこと

◎帰るべき場所がないまま、刑務所から社会に戻る人の数を減らすこと

◎薬物依存からの回復と社会復帰を長期的に支える地域の環境を作ること

少子高齢化が急速に進行する中で、情報化、国際化、消費社会化等が進み、家庭、学校、職場、地域、情報・消費の場など青少年を取り巻く環境にも大きな影響をおよぼしています。また、スマートフォンを始めとする新たな機器・サービスが急速に浸透するなど、インターネット利用環境が大きく変化する中で、インターネットを利用した犯罪の被害やトラブルに遭う事例が絶えないなど、青少年の非行・被害の両面において予断を許さない状況となっています。次代を担う青少年の育成は、国民全体に課せられた責務であり、地域が一体となった青少年の非行・被害の防止のための取組を進める必要があります。そこで、次の点を目標に、町ぐるみで心を合わせた青少年の健全育成の運動を展開します。

【重点目標】 ◎「家庭の日」の実践に努め、すべての親、大人が子どもの手本となるように、自らの姿勢を正し、我が子の養育に責任を持ち、健全な家庭づくりをする

◎「地域の子どもは、地域で守り育てる」という意識に立ち、大人が子ども一人ひとりを暖かく見守りながら、ときに励まし、ときに注意や助言をして地域の連帯感と教育力を高めるように努める

◎青少年をとりまく地域環境の浄化のため、地域ぐるみで有害な環境をなくすよう努力する

【スローガン】 非行の芽 はやめにつもう みな我が子

平成 28 年度武豊町青少年健全育成推進町民大会 第 66 回武豊町社会を明るくする運動推進大会

と き 7月13日(水) 10:00～12:00 (受付開始 9:30)

ところ ゆめたろうプラザ 響きホール

内 容 ○青少年健全育成推進町民大会 実践目標の宣言

社会を明るくする運動 実施目標の宣言

ちびっこ警察官による啓発 交通安全標語の宣言

○講演会 「知っているようで知らない、思春期と反抗期」

講 師 きたざわ きみひろ 北沢 公博さん

※どなたでも参加できます。定員に達した時点で入場制限を行います



《北沢公博氏について》

名古屋市西区出身。日本福祉大学卒業。日本メンタルヘルス教会公認の心理カウンセラーとして、個人のカウンセリングからサークル・セミナーの講師、企業講演など、多くの人や組織の心のケアに全力を注ぐ活動を行っています。2012年3月には、震災義援のために、絵本「おばけホテルにすむネコ」を執筆。2013年放映の、ものまね番組では、F.M.のそっくりさんとして出演。